



避難訓練

火災から命を守る
判断力をつける！

▽生徒部△



本年度2度目の避難訓練を10月9日に行いました。1学期は地震・津波避難訓練でしたが、今回は火災を想定した訓練でした。業者の方が来校し、実際に発煙筒を用いて校舎内に煙の状態を再現、消防署へは電話で通報、状況報告を行います。非常ベルが鳴り、火災発生校内放送での、避難経路の指示、避難、集合後の安否確認など、一連の流れを体験しました。生徒は指示に耳を傾け、迅速な行動ができていました。

工業高校では、実習などで火気を扱ったり、薬品を使用したりすることがしばしばあります。適切な指導の下行われていますが、いつどのようなときに火災や非常事態が発生するかわかりません。

学校だけでなく、家庭や勤務先など日常でも、火災を起こさない行動、起こった時の的確な判断など身につけておかなければなりません。